

購読料改定について

過去22年間据え置き
 一面社告でお知らせしま
 した通り、東京新聞は四月
 から二十二年ぶりに月ぎめ
 購読料を改定することに
 なりました。読者の皆さまに
 負担増をお願いするのは大
 変心苦しいことですが、と
 うかご理解いただきますよ
 うお願いいたします。以
 下、購読料改定の事情と背
 景について説明させていただきます
 ます。

費用が拡大する一方、今日
 の物流関係の深刻な人手不
 足など、皆さまに確実に新
 聞をお届けするための環境
 が急速に悪化
 しているためで
 す。弊社では
 組織改革などを
 通じた人件費抑
 制を含む徹底的
 な経費の見直し、工程の合
 理化などコスト削減に向け
 た企業努力を重ねてまいり
 ましたが、皆さまにお伝え
 すべきニュースをお届けす
 るための態勢を維持するた
 めには、購読料見直しをお
 願いせざるを得ない状況と
 なりました。

首都圏の地元紙として

読者とともに歩みます

めには、購読料見直しをお
 願いせざるを得ない状況と
 なりました。笑いと楽しみを
 忘れず、今年四月末に天皇陛下
 が退位され、平成が幕を閉
 じました。

国内外で多くの記者が日
 側を立て、笑いと楽しみ
 も忘れない紙面作りを目指
 してまいります。
 東京新聞はつづいた大ニ
 ユースはもろろ、権力監
 視と脱原発はしれまてと変
 わらず報道の柱としていき
 わせ、国内外のユニークな
 食をテーマとする新企画を
 近くスタートさせる計画で
 す。「ニュース
 あなた発」は、
 皆さまの疑問や
 不安の声を集め
 る手法や窓口を
 広げ、読者の知
 りたいことを報
 じます。また、原稿取材班
 のサイトは、三月から「原
 稿のない国へ」にリニュー
 アル。再生可能エネルギー
 と原発問題を二本柱として
 います。来年の東京オリ
 ンピック・パラリンピック
 に向けては地元紙ならではの
 幅広い視点で皆さまな
 り話題を紹介していきます。
 見直し後も低価格

今回、心ならずも料金改
 定をお願いすることになり
 ましたが、料金見直し後も
 首都圏において東京新聞の
 購読料はなお低価格です。
 そして、読者の皆さまにと
 もに歩む新聞であることに
 も何ら変わりはありません。
 今後も全社員による徹底
 的な経費削減努力を続けて
 いきます。購読料改定の事
 情にご理解、ご賛察を心よ
 りお願いいたします。

東京新聞は四月一日から、朝夕刊セットの月ぎめ購読料を現在の三千三
 百四十三円(消費税込み)から三百五十七円引き上げ、三千七百円に改定
 させていただきます。

東京新聞は購読料を、これまで消費
 税率引き上げに伴う改定を除き、本体
 (税別)価格を一九九七年二月に改め
 て以来二十二年間、据え置いてまいり
 ました。

東京新聞は「首都圏の地元紙」を毛
 ツトーに、親しみやすい新聞を目指し
 ております。

首都圏の話題
 やスポーツ、
 国内外の出来
 事、身近な生
 活情報などの
 ニュースを幅広く発信するとともに、
 徹底した経費削減を図り、できうる限
 り低価格でお届けするように努力して
 まいりました。

しかし現状では、新聞製作経費の増
 大により、経営状況は厳しさを増して
 います。また、物流関係を中心とした
 人手不足が深刻化するに伴い、労務確
 保などの諸費用が上昇し、新聞販売網

購読料改定のお願い

4月から月3700円

購読料の改定
 に伴い、皆さま
 からの声をもと
 に記者が調査し
 て報じる「ニ
 ユースあなた発」

のほか、子育てサイト「東京すくす
 く」など東京新聞独自のデジタル記事
 も一段と充実させていきます。

なお、朝刊の一部売りの定価は百二
 十円(消費税込み、現行百十円)とさ
 せていただきます。夕刊は五十円で据
 え置きます。

(2面に関連の説明文を掲載してあ
 ります)

東京新聞